

子どもの体験活動補助金

■ 目的・事業概要

子どもの貧困対策の一環として、家庭の状況によって、習い事など子どもの体験機会に差があることを踏まえ、子どもが自分の意志で活動に参加できる機会や場所を提供する団体の活動を支援する。公募・審査により採用された7団体の取り組みに対し、5万円乃至10万円を補助した。

■ 活動実績と成果

こども食堂 ……

げんき：国際ソプロチスト岩見沢、各回100食準備（弁当形式）
 ほぼ毎月、同一メニューの弁当を配布。3か月に一度、ミニ縁日、ゲーム、チャリティーを開催して子どもと触れ合える時間も確保した。また、児童扶養手当の受給者向けにもPR。

食事の提供に加え、イベントの開催やあそびを取り入れ、主催者と子どもが触れ合える時間を確保しよう努めたが、必ずしも、そうした機会が十分確保できる状況ではなかった。

もぐもぐキッチン：おひさまキッチン、各回実績70食前後（弁当形式）
 7月から3月まで実施。各回食事メニューや遊び体験のプログラムを工夫。地域から食材提供、ボランティアの参加も受入。8月以降、緑陵高校生が運営にも参加。

まんぷく食堂：学生団体ヒトツナギ iwamizawa、各回50食準備（実績15～40食）（弁当形式）
 8月からほぼ2か月ごと、駒園町内会館で開催。地元食材を使ったメニュー、子どもが感染予防策、準備作業、運動、お絵かきなどに参加しながら、スタッフと交流する機会をつくる。

運動・レクリエーション ……

なんかするかい？：なんかする会？
 志文地域の公園や学校のグラウンドを会場に、水遊びや音楽あそび、雪遊びなど季節にあわせた外遊びを実施。子どもに外遊びを経験させたいママ友たちの意識が活動につながった。

最寄りの学校、児童館等で身体を使った遊びを体験し、参加者相互、地域の大人と交流する機会を提供。

レクリエーション事業：マロンドリーム
 コロナ禍のため、中止が多い地域（栗沢）の行事に代わり、子ども同士が交流する機会や、子どもが地域の伝統行事に挑戦できる機会を作ることができた。

子どものためのヨガ教室：子どものためのヨガクラブ
 各児童館を会場に、ヨガポーズや呼吸法を体験し、姿勢改善、情緒安定など、子どもたちが抱える心身の不具合と向き合う機会をつくった。

食でつながろう ……

ベジトレ、食deアート：岩見沢食でつながろうプロジェクト
 コロナ禍のため、食事を通じた交流機会は持てなかったが、季節行事に合わせたアート作品づくりを通して、地元農家等の関係づくりも出来た。

ギブミーベジタブルの活動にならった料理づくりは、コロナ禍のために断念せざるを得なかったが、食に関連する季節行事に合わせたアート活動などを通して、子どもたちとの交流だけでなく、地元農家との関係づくりも出来た。

■ 今後の予定
 令和3年度事業は3月末で終了。次年度の予算も同額を確保し、各活動を支える予定。次年度3年目を迎えるこども食堂等の継続活動は、運営態勢の構築が課題。今年度からの新規活動は、今年度の成果と課題を踏まえ、子どもたちと主催者にとってより効果的な活動に取り組みたい。

《活動実績・資料》

	こども食堂R1(秋)	こども食堂もぐもぐキッチン	こどもキャンパス「まんぷく食堂」	なんかするかい？	レクリエーション事業	こどものためのヨガ教室	ベジトレ、食deアート
対象/参加数	市中心及び鉄北地区未就学児から高校生/各回100食(原則2会場)	主に中央小学校区未就学児から高校生/各回60-70食	主に美園小学校区未就学児から高校生/各回20-40食	主に志文小学校区高校生以下 8月:水遊び、29人 10月:志文ランド、116人 1月:雪遊び、21人	栗沢小中学校区小・中学生 10月:256人 1月:26人	各児童館(小学生)夏休み:5館、98人 冬休み:1館、9人 ※鉄北、美園、春日、東・栄、利根別、上幌向	鉄北地区、市中心主に小学生 10月:野菜スタンプ、7人 3月:●人
頻度時間	毎月第3土曜日11:30-12:30 イベント時は、2時間以上	7月から3月まで4回1回60-70食 11:30-13:30 食事を前面にせず、遊べる企画を充実	8月から各月、4回11:30-13:30	8月、10月、1月各回3時間以上	10月:13:30-16:30 1月:13:00-16:00	7月-8月:各館2時間 1月:2時間	10月:13:00-16:00 3月:14:00-15:00 15:30-16:30
体制・継続性	従事者6名のほか、JA鉄北店など	従事者7名のほか、地域のボランティア	従事者22名が業務を分担	従事者4名のほか、高校生、大学生のボランティア	従事者17名が、業務を分担	従事者8名が、分担して児童館を訪問	従事者6名が、分担して企画運営
他活動との連携	JA青年部、第一小PTAほか活動と連携	緑陵高校生の課題研究班、ボランティア部	令和4年度、光陵中学校区の学校運営協議会と連携予定	雪遊びでは、岩見沢プレーパーク研究会と連携	栗沢地域学校協働本部との連携	であえる岩見沢で開催の小中高校生のためのヨガ講座	学生団体ヒトツナギ iwamizawaの活動と連携
広報活動	広報いのみざわ掲載年度当初、小中学校へのチラシ配布	広報いのみざわ掲載最寄り小学校児童にチラシ配布、中高での掲示	広報いのみざわ掲載最寄り小学校等にチラシ配布	広報いのみざわ掲載、最寄り小学校にチラシ配布	広報いのみざわ掲載、最寄り小学校にチラシ配布	各児童館でポスター掲示、開催を告知	広報いのみざわ掲載最寄りの小学校等にチラシ配布
次年度継続希望	3年目・継続希望	3年目・継続希望	活動としては3年目こども食堂としては2年目・継続希望	3年目・継続検討中	2年目・継続希望	2年目・継続希望	2年目・継続検討中

おはようキッズ事業

■ 目的・事業概要

地域と児童館・放課後児童クラブとの交流と、仕事と子育ての両立支援を目的として、土曜日や長期休業期間中の朝の開館時間を、シルバー人材センターとの連携により、7時30分とする事業。
 7時30分から8時30分の1時間をシルバー人材センターが対応し、8時30分以降は通常通り職員が対応する。

■ 利用実績

おはようキッズ事業登録・利用状況(12月末現在)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		延利用児童数計	1日当たり平均利用児数(777)
	登録児童数	延利用児童数																		
12児童館9クラブ	430	806	443	170	451	139	478	1421	489	1955	493	263	496	248	498	275	510	485	5,762	92.9

保育所の耐震改修

■ 目的・事業概要

子どもの安全を確保し、質の高い保育環境を提供するため、耐震改修を実施する社会福祉法人に対し、国の補助制度に基づき、建築費用を補助する。

■ 対象となる保育所

西保育園(基礎工事ほか)
 令和2年度に基礎工事等を実施、令和3年度に園舎を建築し、令和3年10月に供用開始。

■ 今後の整備予定

みなみ保育園の整備予定は当初令和4年度～5年度の2か年で予定していたが、建設予定地の選定に調整を要するため、予定期間を令和5年度実施に変更となった。



保育士確保対策

■ 目的・事業概要

質の高い保育と幼児教育を安定的に提供するため、法人による保育士・幼稚園教諭の採用活動を支援するため、新規学卒の資格者に対して就職準備金を支給した法人に対し、20万円を上限に補助する。第2期子ども子育てプランの対象期間である令和6年度までの時限制度。

■ 補助金交付実績

	R2		R3(見込)		R4(予算)	
	園	人	園	人	園	人
保育所	6	6	4	6	7	10
幼稚園	2	4	2	2	3	5
計	8	10	6	8	10	15